

いなだスタディ ～9年間をかけ地域とともに地域の宝を育てる～

いなだスタディとは、**い**ろいろな体験を通して **な**りたい自分を見つけ **だ**い好きなふるさとに出合う学習活動という意味で、具体的には総合的な学習の時間や生活科、教科や学級活動で行っている地域に関する授業、松明あかしや米作り体験・稲田米PR活動、商店街等の見学学習、職場訪問や職場体験など、保護者や地域の協力の下、わくわくする体験や将来の生き方につながる経験をしたり、地域の良いところを感じさせたりする中で、未来の自分を発見できる学びのことである。



9年間の『いなだスタディ』がめざす子ども像
**ふるさとを愛し、
 社会や未来を拓く子ども**



生きる力の向上

● 後期ブロック 8～9年生 ●

地域の未来を見つめる 自己実現をめざす

- ・秋華祭 ・職場体験 ・修学旅行
- ・松明あかし ・稲田 PR 活動 等

- 自己を見つめ、自己の良さを生かした夢の実現に向けて、主体的に取り組む。
- 地域の特徴や良さの中から課題を考え、地域に関する学びを広げる。

● 中期ブロック 5～7年生 ●

地域のくらしを知る 自分の将来を見つめる

- ・立志式 ・宿泊学習 ・職場見学
- ・米作り体験 ・秋華祭合同発表 等

- 将来へのあこがれや夢を持ち、その実現に向けて努力する。
- 地域の人々や暮らしと自分との関わりを考え、地域に関する学びを深める。

● 前期ブロック 1～4年生 ●

地域の良さを知る 友だちと関わる

- ・1/2 成人式 ・見学学習 ・宿泊学習
- ・幼稚園と交流 ・秋華祭合同発表 等

- 友だちと積極的に関わりながら活動する中で、自分の持ち味や役割を自覚する。
- 自然体験、伝統文化・行事などで五感を活用した体験活動を通して地域の良さに気づく。

● いなだスタディの基盤 ●

保護者の協力 (PTA、ボランティア)、稲田公民館との連携 (地域行事、中学生ボランティア活動等)、積極的な情報発信 (HP、学園だより・学級通信等)、人材発掘・活用につながる地域情報の受信